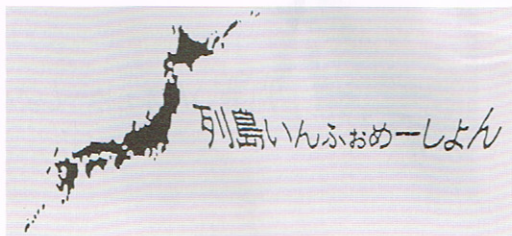


自分で考える新幹線。来年デビューするJR東海の車両



10店も街の歴史を示す写真か店の写真いずれか1点を店頭飾る運動をすすめている。

「会話を弾んでスムーズに商談でも出来るようです」とメンバーの主婦(三四)。

赤ちゃんの写真入り名刺を手渡されてまず怒る人はいない。思わず笑顔の輪が広がっていくという。

この赤ちゃん名刺、クチコミで広がり、当初の予想をはるかに上回っているのも、その効果の現れ。

選挙の立候補にも「赤ちゃん写真がアピールすれば票も集まる?」。

● 静岡県

東海道新幹線に新型車両

浜松市 新幹線は進化、自分で走る時代へ……。JR東海はこのほど東海道新幹線の新型車両「N700A」を浜松工場で公開した。

新型車両の特徴は列車白らが、考えて加減速、ダイヤびつたりに行する「自動運転機能」。

来年2月に営業運転する。

新幹線登場いらい、自動運転の機能はじめて。東海道新幹線の平均遅延時間は36秒だが自動運転機能で

短縮される。外観はN700と変わらないが、新型ブレーキなど見えないうちで大きく進化している。

● 富山県

ニ新幹線が出発進行

小矢部市 クロスランドおやべのミニ鉄道に新幹線が導入され、近所の保育園児らが試乗を楽しんだ。

新幹線は新型のN700系で、1周600mの軌道に、駅舎や車両基地などが設けられている。

常設施設を運営する、おやべミニ鉄道クラブ(高橋菊雄会長)が購入した。

招かれた園児らは松沢保育園の35人で、トンネルなどで歓声をあげていた。9月にデビュー、早くも地域の人気を独占している。

● 長野県

恋人の聖地にモニュメント

諏訪市 「恋人の聖地」に認定された霧ヶ峰高原の八島ヶ原湿原(標高約1600m、下諏訪町)にこの

ほど聖地の銘板を取り付けたハート形モニュメントが完成した。

聖地を申請した下諏訪町が町側の園地に設けたもので、関係者は多くの人が訪れ、カップルが誕生して欲しい」と願っている。

モニュメントは「幸運を呼ぶ」四

つ葉のクローバーを模した台座の上に置かれた黒御影石製で高さ1m、幅1・3m。銘板がある表側はハート形の湿原の形に仕上げられている。

除幕式で青木悟町長は「生まれたカップルはぜひ諏訪大社で参式を」と呼びかけた。

● 愛知県

被災者に手編みベストを

豊田市 手編みグループ「あじさい」の女性10人が東日本大震災の被災者に手編みベストを届けようと送り先を募っている。

メンバーは昨年も宮城県などの仮設住宅から希望があったが、今年も各家庭で眠っている毛糸を集め、40着のベスト、20個の帽子、マフラー、ひざかけを編んだ。

昨年の送り先からはお礼とともに笹かまぼこ、しそ巻が届いた。

メンバーは「今年も心を込めて編みました」と送り先を募っている。